

2018年4月11日

中野区 施設分野 御中

公益社団法人 日本建築家協会 中野地域会

代表 小西 敏正

謹啓

日頃より中野区の建築水準の維持・向上のために尽力なさっていることに、地域の専門家団体として、敬意を表します。

さて、設計中の 哲学堂公園 学習展示施設は、公園全体との一体性をもって捉えられるものと言えますが、これにつき以下の点をご配慮いただきたく、また委託先ともよろしくご協議のほど、お願い申し上げます。

① 哲学堂公園の原設計や園内の古建築の設計に井上円了が込めた考え方に倣い、(形・色の面で現存の古建築を考慮するよりもむしろ、)新しい施設の姿に今日的な哲学上の課題(\*)を何がしか反映させて下さい。

来訪者への「なぞかけ」の要素があると望ましいと考えます。

<\*上記を標語にした 一例>

- (1) 人工的な知能の発達を前に「知」の本質
- (2) 生命科学の発達を前に「生」の本質
- (3) 意思共有の地球的変革を前に「心」の本質
- (4) 終局へと近づく資本主義の展開を前に、「富」の本質
- (5) 環境・宇宙の有限性を前に「進歩」の本質

② 建物自身が一つの展示物であり、かつ学習の対象である、という観点で設計されるよう、望みます。

③ エコロジーを考慮したことが、来訪者に判るような設計を望みます。

以上、ご検討ください。

なお、上記につき、説明が必要な場合には、ご下命ください。

謹白